

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 6 月 17 日 (2021.6.17)

【公開番号】特開 2019-198487 (P2019-198487A)
 【公開日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-047
 【出願番号】特願 2018-94896 (P2018-94896)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 4 月 27 日 (2021.4.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

所定力未満の発射威力で発射された遊技球が流下する可能性が高い第一遊技領域と、前記所定力以上の発射威力で発射された遊技球が流下する可能性が高い第二遊技領域とを有する弾球遊技機であって、

前記第一遊技領域を流下する遊技球が入球可能な位置に設けられた第一始動口と、前記第二遊技領域を流下する遊技球が入球可能な位置に設けられた第二始動口と、

前記第二遊技領域に設けられ、該第二遊技領域に発射された遊技球を入球可能な開放状態と入球不能な閉鎖状態とに変換される大入賞口と、

第一特別図柄を変動表示する第一特別図柄表示装置と、

第二特別図柄を変動表示する第二特別図柄表示装置と、

前記第一始動口と第二始動口とへの遊技球の入球に起因して、所定の乱数を抽出する乱数抽出手段と、

該乱数抽出手段により抽出した乱数に基づいて、大当たり、小当たり、又はハズレを判定する当否判定手段と、

第一始動口の入球を契機として、前記第一特別図柄表示装置の第一特別図柄を変動開始し、所定変動時間の経過後に、前記当否判定手段による判定結果を示す図柄態様で停止表示させる第一特別図柄制御手段と、

第二始動口の入球を契機として、前記第二特別図柄表示装置の第二特別図柄を変動開始し、所定変動時間の経過後に、前記当否判定手段による判定結果を示す図柄態様で停止表示させる第二特別図柄制御手段と、

前記当否判定手段で大当たり判定した場合に、前記第一特別図柄の変動停止または第二特別図柄の変動停止に基づいて、前記大入賞口を開放する開放ラウンドを複数回繰り返す大当たり遊技を実行する大当たり遊技制御手段と、

前記当否判定手段で小当たり判定した場合に、前記第一特別図柄の変動停止または第二特別図柄の変動停止に基づいて、前記大入賞口を、前記大当たり遊技による開放ラウンドの総開放時間よりも短い時間で開放させる小当たり遊技を実行する小当たり遊技制御手段と、

前記大当たり遊技の終了後に、通常の遊技状態と、該通常の遊技状態に比して遊技者の獲得可能な利益が高い複数の高利得遊技状態とのいずれかに選択的に移行させる遊技状態移行

手段と

を備え、前記第一特別図柄と第二特別図柄とを同時並行して変動可能である弾球遊技機において、

前記当否判定手段は、第二始動口への入球により抽出した乱数を判定する場合に、ハズレ判定する確率よりも高く定めた小当り確率によって小当りか否かを判定する判定処理内容を備え、

前記第二特別図柄制御手段は、第二特別図柄の平均変動時間を、第一特別図柄の平均変動時間よりも長くする長変動制御内容と、特定の高利得遊技状態における第二特別図柄の平均変動時間を、第一特別図柄の平均変動時間以下とする短変動制御内容とを備え、

また、大当り遊技の開始から終了までの大当り遊技状態と前記特定の高利得遊技状態とが連続する連続有利期間に亘って、一連の特典演出画像を表示する特典演出制御手段を備えているものであり、

さらに、前記特定の高利得遊技状態は、当否判定手段における大当り当選確率を通常の遊技状態に比して高くし、かつ他の高利得遊技状態に比して、大当り遊技の連続回数を少なくしたものであって、

遊技状態移行手段は、前記特定の高利得遊技状態を介して実行される大当り遊技の連続回数が、予め定められた連続上限値に達すると、大当り遊技の終了後に該特定の高利得遊技状態を除く他の遊技状態へ移行させる処理内容を備えてなり、

特典演出制御手段が一連の特典演出画像を表示する連続有利期間が、前記特定の高利得遊技状態を除く他の遊技状態へ移行する大当り遊技の終了に伴って、期間終了するものであることを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、所定力未満の発射威力で発射された遊技球が流下する可能性が高い第一遊技領域と、前記所定力以上の発射威力で発射された遊技球が流下する可能性が高い第二遊技領域とを有する弾球遊技機であって、前記第一遊技領域を流下する遊技球が入球可能な位置に設けられた第一始動口と、前記第二遊技領域を流下する遊技球が入球可能な位置に設けられた第二始動口と、前記第二遊技領域に設けられ、該第二遊技領域に発射された遊技球を入球可能な開放状態と入球不能な閉鎖状態とに変換される大入賞口と、第一特別図柄を変動表示する第一特別図柄表示装置と、第二特別図柄を変動表示する第二特別図柄表示装置と、前記第一始動口と第二始動口とへの遊技球の入球に起因して、所定の乱数を抽出する乱数抽出手段と、該乱数抽出手段により抽出した乱数に基づいて、大当り、小当り、又はハズレを判定する当否判定手段と、第一始動口の入球を契機として、前記第一特別図柄表示装置の第一特別図柄を変動開始し、所定変動時間の経過後に、前記当否判定手段による判定結果を示す図柄態様で停止表示させる第一特別図柄制御手段と、第二始動口の入球を契機として、前記第二特別図柄表示装置の第二特別図柄を変動開始し、所定変動時間の経過後に、前記当否判定手段による判定結果を示す図柄態様で停止表示させる第二特別図柄制御手段と、前記当否判定手段で大当り判定した場合に、前記第一特別図柄の変動停止または第二特別図柄の変動停止に基づいて、前記大入賞口を開放する開放ラウンドを複数回繰り返す大当り遊技を実行する大当り遊技制御手段と、前記当否判定手段で小当り判定した場合に、前記第一特別図柄の変動停止または第二特別図柄の変動停止に基づいて、前記大入賞口を、前記大当り遊技による開放ラウンドの総開放時間よりも短い時間で開放させる小当り遊技を実行する小当り遊技制御手段と、前記大当り遊技の終了後に、通常の遊技状態と、該通常の遊技状態に比して遊技者の獲得可能な利益が高い複数の高利得遊技状態とのいずれかに選択的に移行させる遊技状態移行手段とを備え、前記第一特別図柄と第二特別図柄とを同時並行して変動可能である弾球遊技機において、前記当否判定手段は

、第二始動口への入球により抽出した乱数を判定する場合に、ハズレ判定する確率よりも高く定めた小当り確率によって小当りか否かを判定する判定処理内容を備え、前記第二特別図柄制御手段は、第二特別図柄の平均変動時間を、第一特別図柄の平均変動時間よりも長くする長変動制御内容と、特定の高利得遊技状態における第二特別図柄の平均変動時間を、第一特別図柄の平均変動時間以下とする短変動制御内容とを備え、また、大当り遊技の開始から終了までの大当り遊技状態と前記特定の高利得遊技状態とが連続する連続有利期間に亘って、一連の特典演出画像を表示する特典演出制御手段を備えているものであり、さらに、前記特定の高利得遊技状態は、当否判定手段における大当り当選確率を通常の遊技状態に比して高くし、かつ他の高利得遊技状態に比して、大当り遊技の連続回数を少なくしたものであって、遊技状態移行手段は、前記特定の高利得遊技状態を介して実行される大当り遊技の連続回数が、予め定められた連続上限値に達すると、大当り遊技の終了後に該特定の高利得遊技状態を除く他の遊技状態へ移行させる処理内容を備えてなり、特典演出制御手段が一連の特典演出画像を表示する連続有利期間が、前記特定の高利得遊技状態を除く他の遊技状態へ移行する大当り遊技の終了に伴って、期間終了するものであることを特徴とする弾球遊技機である。